

タイワンミスジ	翠 ⁽²⁾ 1 ♀ 仁 ⁽²⁾ 1 ♂	+b
ホリシャミスジ	南 ⁽²⁾ 1 ♂	+b
シロミスジ	南 ⁽²⁾ 1 ♀	+c
イシガケチョウ	仁 ⁽²⁾ 1 ♂	+c
アカボシゴマダラ	霧 ⁽²⁾ 1 ♀	+b
ホソチョウ	埔 ⁽²⁾ 1 ♀ 仁 ⁽²⁾ 1 ♀	+b

テングチョウ科

テングチョウ	南 ⁽²⁾ 2 ♂	+c
--------	----------------------	----

シジミチョウ科

カクモンシジミが最盛期、ヒメウラナミシジミとともに個体数の多さに驚かされた。他の種は時期が晚かった。14種採集。

ウラフチベニシジミ	仁 ⁽²⁾ 3 ♂ 3 ♀	++b
ヒメウラナミシジミ	南 ⁽²⁾ 8 ♂ 仁 ⁽²⁾ 7 ♂	#a
アマミウラナミシジミ	南 ⁽²⁾ 1 ♀ 仁 ⁽²⁾ 6 ♂	++b
ウラナミシジミ	南 ⁽²⁾ 1 ♀	+b
シロウラナミシジミ	南 ⁽²⁾ 1 ♀ 仁 ⁽²⁾ 1 ♂	+c
ヤマトシジミ	南 ⁽²⁾ 3 ♂ ⁽²⁾ 1 ♀ 仁 ⁽²⁾ 1 ♀	++a
カクモンシジミ	南 ⁽²⁾ 8 ♂ 1 ♀ ⁽²⁾ 2 ♂	#a
タイワンクロボシシジミ	南 ⁽²⁾ 1 ♂ 仁 ⁽²⁾ 3 ♂	++b
タイワンツバメシジミ	南 ⁽²⁾ 2 ♂ 仁 ⁽²⁾ 2 ♂	+a
タッパンルリシジミ	南 ⁽²⁾ 1 ♂	+c
ホリシャルリシジミ	南 ⁽²⁾ 5 ♂	++b
ルリシジミ	南 ⁽²⁾ 1 ♂	+c
タイワンルリシジミ	南 ⁽²⁾ 3 ♂	+b
ヒメウラボシシジミ	仁 ⁽²⁾ 3 ♂	+b

セセリチョウ科

明らかに時期が晚く、各地で幼虫が見られた。わずかに4種を採集したのみ。

タイワンキマダラセセリ	仁 ⁽²⁾ 1 ♂	+b
ホソバセセリ	仁 ⁽²⁾ 2 ♂	++a
ウスバキマダラセセリ	仁 ⁽²⁾ 1 ♂	+b
コモンチャバネセセリ	南 ⁽²⁾ 1 ♂	+b

〈参考文献〉

白水 隆 (1960) 原色台湾蝶類大図鑑 保育社
 福田晴夫 (1976) チョウの生態観察法 ニューサイエンス社

Shinichi Kondo 神戸市

早春に生野町で採集した蝶

入 江 照 夫

1985年3月24日、春まだ浅い南但馬での採卵会の記録を報告する。

3月例会の採卵を朝来郡生野町黒川で参加会員数6名で行った。

午前中は銀山湖の北岸、青垣町へ向う山道で採卵を行った。目標のブナは見当らなかったが、サクラが多く卵数は少なかったがメスアカミドリシジミはかなり広い範囲で確認された。

午後はフジミドリシジミを求めて黒川ダムの西方へと移動した。ブナが適当にあり余り広くない範囲で採卵を開始した。フジミドリシジミが主体であったが採集成果は6名で次の通りであった。

1. 採 集 卵

フジミドリシジミ	58卵
メスアカミドリシジミ	33卵
ジョウザンミドリシジミ	2卵
ウラクロミドリシジミ	12卵

2. 採集幼虫

コムラサキ	2頭
ヒメキマダラヒカゲ	2頭
ミスジチョウ	1頭

3. 目撃成虫

日当りのよい山道などで越冬した成虫が目撃された。

テングチョウ
ヒオドシチョウ
キタテハ
ルリタテハ
キチョウ

この時のフジミドリシジミは孵化率が悪く約50%であった。筆者の採卵数11卵のうち6卵が孵化、成虫になった。

Teruo Irie

相生市